

川崎市議会議員 浅野文直



発行元：自由民主党神奈川県川崎市宮前区第4支部
〒216-0003川崎市宮前区有馬6-6-7
TEL 044(860)2370 FAX 044(860)2371

「あなたの視点」川崎市議会報告

第23号

快適実感宣言!

もし議員が
ドラッカーを読んだら

ベストセラーとなった「もしドラ」こと「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだら」。ドラッカー氏自身の著書には組織マネジメントや政治を取り上げたものが多い。それらに共通するのは「人を幸福にする為の組織論」とも言われる。

今、日本の政治にこの理論を当て嵌めるとどうだろうか?

政党内のゴタゴタや、単に官僚を無視する事が国民の為の政治主導でないのは明らかである。国という組織、川崎市という組織が行うべき事を議員として真摯に考え実行していきます。



プロフィール

昭和46年2月21日生まれ。現在39才
●群馬県立渋川高校卒業、国学院大学法学部法律学科卒業。在学中に、原田義昭衆議院議員の書生として師事。実践の政治を学ぶ。卒業後、松崎正策自民党神奈川8区支部長の秘書となり、宮前区の責任者として、すみずみまで歩きまわす。

●平成11年4月川崎市議会議員に初当選。現在3期目。自民党川崎市議団、市民委員会、党市連政務調査会長、「自民党を考える若き地方議員の会」「川崎市防衛議員連盟」幹事長。

学生時代

高校時代はボクシング部。大学時代は弁論部幹事長として、ディベート・弁論大会、全国遊説を敢行。趣味は、トランペット、将棋。

議会での論戦一覧 (抜粋)

浅野文直の質問内容

【～前期までの論戦の一覧はHPをご覧ください～】

■平成22年12月17日(定例会)

- ・障害者入所施設開設にむけて
- ・出資法人「川崎冷蔵(株)」の経営改善について
- ・コミュニティ交通のあり方について
- ・人事評価システム導入結果について

■平成22年9月24日(決算審査特別委員会)

- ・出資法人保健衛生事業団の廃止について
- ・出資法人の現金出納における問題点と給与規定について

■平成22年6月22日(定例会)

- ・職員の給与、手当について
- ・技能労務職員の給与の民間比較について
- ・指名競争入札のあり方について
- ・ふれあい活動支援事業とすまやか活動支援事業について

■平成22年3月9日(予算審査特別委員会)

- ・下水道事業中期経営計画について
- ・補助金の積算根拠と派遣職員のあり方について
- ・入札での失格基準の新たな取組について
- ・防犯対策事業にみる防犯灯LED化について

■平成21年9月29日(決算審査特別委員会)

- ・(財)保健衛生事業団の廃止について

■平成21年6月29日(定例会)

- ・バス路線の退出意向申し出について
- ・川崎縦貫高速鉄道事業について
- ・町会、自治会への加入促進条例の制定について
- ・川崎市小学校ふれあいゲイサービスについて

■平成21年3月 予算審査特別委員会

- (委員長就任の為、質疑立てず)
- (委員長として平成21年度川崎市一般会計
予算ほか21件を審査)

■平成20年12月16日(定例会)

- ・川崎考古学研究所の文化財の保管換えについて
- ・人事給与システムオープン化及びシステム連携基盤の活用について

■平成20年9月30日(決算審査特別委員会)

- ・投票事務における週休日振り替え制度について
- ・私立幼稚園での健康診断について
- ・水質異常時の対応について

■平成20年6月24日(定例会)

- ・市営住宅の防火体制について
- ・建築協定について
- ・地域ポータルサイトについて
- ・情報システム全体最適化計画について

■平成20年3月11日(予算審査特別委員会)

- ・フリースクール等に通う学生の通学定期について
- ・ベイオブ対策と資金運用について
- ・梶ヶ谷トンネルへの防犯カメラ設置について
- ・市民グラフかわさき「ひろば」について

■平成19年12月18日(定例会)

- ・水道事業及び水道料金の改定について
- ・保育事業について
- ・青色回転灯パトロールについて
- ・アメリカンフットボールを活用したまちづくりについて

■平成19年9月26日(決算審査特別委員会)

- ・南小児急病センターについて
- ・公共工事の遅れと契約解除について
- ・野川地区の住居表示について
- ・梶ヶ谷トンネルへの防犯カメラ設置について

進捗状況

- ⇒第3期実行計画に位置づけ取組を急ぐ
- ⇒経営改善計画の検証
- ⇒道路運送法78条バスの研究と有馬・東有馬コミュニティバスの要望
- ⇒給与表への影響の検証と最高給与月額の変因チェック

- ⇒PT設置と入札変更を行い早期に統廃合の予定
- ⇒給与規定の徹底化

- ⇒住宅手当等の検証
- ⇒実態の情報公開
- ⇒北部市場の入札変更決定
- ⇒事業のあり方を検証

- ⇒計画の検証
- ⇒入札契約制度改革の中で調査検討へ
- ⇒同上
- ⇒検討へ

- ⇒廃止への道筋決定

- ⇒コミュニティバスの要望
- ⇒現在と過去の執行体制の検証
- ⇒実証と連携強化へ
- ⇒委託基準変更へ

- ⇒市民ミュージアムへの収蔵を急ぐ
- ⇒12000時間の作業時間短縮や市民の利便性向上の検証

- ⇒794万円の削減確認と更なる徹底へ
- ⇒経費補助へ
- ⇒不適切対応の再発防止へ

- ⇒非常ベルや防火雨子の取り付けへ
- ⇒建築協定の更新支援へ
- ⇒検証
- ⇒処分基準を新たに設置

- ⇒県や鉄道等事業者と研究へ
- ⇒これまでの方針にとらわれない的確な運用へ
- ⇒3月末設置へ
- ⇒増刷に向け宮前区も掲出へ

- ⇒平成22年度からの料金軽減へ
- ⇒小規模認可保育所設置などの検証
- ⇒青色回転灯の貸し出し支援へ
- ⇒定期的な協議と取組みへ

- ⇒川崎市医師会や関係局と検討へ
- ⇒早業発注と明確な基準作りへ
- ⇒住居表示検討委員会の設置へ取り組む
- ⇒関連団体と再協議へ



予算！ 借金！ 対策は？

改革の行方

川崎市では約9年間の行財政改革を進めてきました。しかし、借金時計をご覧の通り、未だに負債が負債を生んでいます。また、国や他の地方自治体と比べて人件費が高い事も否めません。

限られた財源を有効に活用し、子や孫に誇れる「ふるさと川崎」を引き継ぐ為にも一層の改革を断行します。

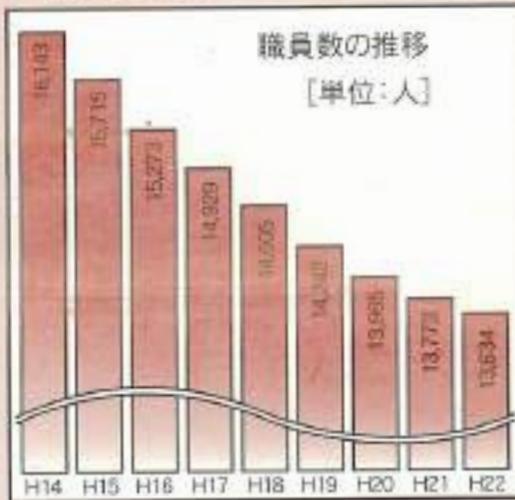
市民一人当たりの
予算と使い道

平成22年度予算にて算出
一般会計歳入歳出6,117億円
市民一人あたり433,556円
人口は平成22年4月1日現在1,414,150人

行財政改革の状況
(直近8年間の取組)

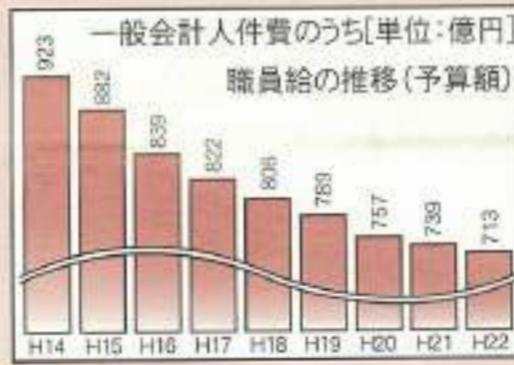
●職員の削減

・効率的な職員配置やごみ収集の民営化などにより、2509人の職員を削減



●人事・給与制度改革

・給与表の抜本的見直しと給与水準の平均4.8%の引下げ
・特殊勤務手当を55手当から12手当へ削減
・新人事評価による昇給制度の導入 など



●出資法人改革

・7法人の削減(現存29法人)
【浅野文直が追及している(財)川崎市保健衛生事業団も近く統廃合】
・天下り役員の報酬限度額(約500万円未満)や退職金ゼロの実施 など

●民間活力の導入

・指定管理者制度の導入により、199施設を管理委託し約11億円の節減
・PFI事業の導入 など

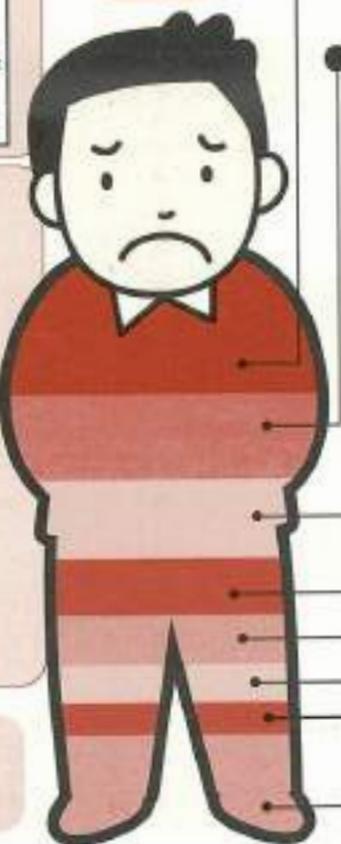
こうした取組みにより約671億円の効果を生み、私立幼稚園園児保育料等補助の拡充や水道料金の値下げなどに還元しています。

収入君



- 市税 279,644円 64.5% (市民税・固定資産税など)
- 国庫支出金 66,334円 15.3% (国が負担する建設費など)
- 市債 58,097円 13.4% (長期の借入れ)
- その他 29,482円 6.8% (県支出金や消費税交付金など)

支出君



- 保険・医療・福祉など (105,645円 24.4%)
- 道路・公園・下水道整備など (64,740円 14.9%)
- 子育て支援 (58,779円 13.5%)
- 市営住宅や区画整理など (42,622円 9.8%)
- 学校教育 (37,105円 8.6%)
- 商店街振興・産業デザインなど (27,910円 6.4%)
- 環境・リサイクル (23,673円 5.5%)
- その他 (73,082円 16.9%)

川崎市議会議員 浅野文直のホームページ「2370.NET」

このホームページは、川崎市の市債から導き出した額を元に算定されています。平成22年度始めの一般・特別・企業の3会計の市債残高は1兆5037億3148万円です。この額に対しての1年間の増減額は373億1549万円です。

これは、
1月で 31億962万4000円
1日で 1億365万4000円
1時間で 431万9000円
1分間で 7万3000円
という計算になります。

川崎市の借金
1兆5037億3148万円
あなたの家庭の負担額は... (円) (世帯2人として計算しています)
1万3000円

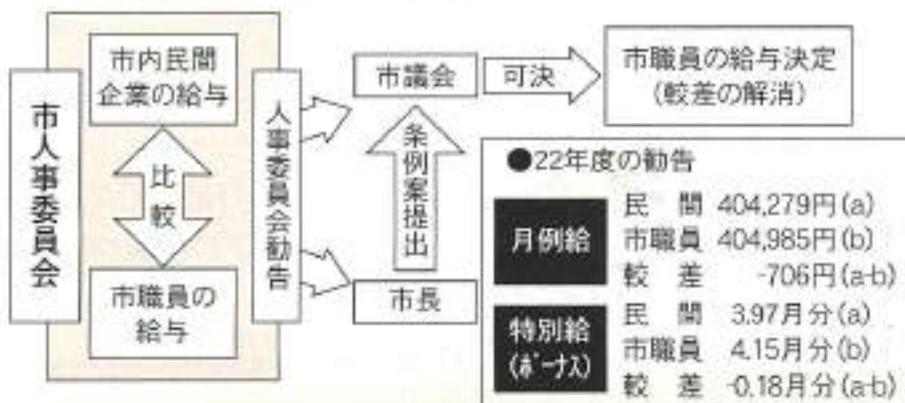
知っておこう。あなたが町のオーナーだから！

職員や議員の給与と定数

●給与決定の仕組み

市職員の給与は、毎年、市人事委員会が市内民間企業の給与を調査し、市職員の給与と比較します。その結果を基に市長と市議会に勧告を行います。この勧告を踏まえて、市長は、市職員の給与水準を民間に準じさせるとともに、国やほかの地方公共団体との均衡を考慮した条例の見直し案を市議会に提出します。市議会の議決を経て、給与が定められます。

本年度は民間給与との較差があるため、市職員の月例給を706円(0.17%)、期末・勤勉手当(ボーナス)を0.2月分引き下げるよう勧告されました。なお、市職員の給料水準は、国の職員の給料水準100.0に対して一昨年4月1日現在103.2となっています。



「あなたの視点」から見た公務員や議員の待遇・制度についての考えをお聞かせ下さい。

あなたが市長なら、どんな公務員制度改革を実行しますか？

●人件費

●人件費の内訳 (21年度普通会計決算) ※職員数は公安企業等を除いた人数です。



職員数を減らすなどの行財政改革の取り組み、給料のマイナス改定や期末・勤勉手当の支給率の削減などにより、人件費は年々減少傾向にあります。なお、決算における人件費の割合は18.5%です。

●給与

22年4月1日現在

●平均給与月額と平均年齢

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	330,602円	462,831円	40歳4月
技能労務職	320,556円	413,482円	45歳8月

※平均給与月額は給料に諸手当を加えたものの平均月額です。

●初任給の状況(一般行政職)

区分	市	国
大学生	201,152円	202,944円
高校卒	161,840円	156,912円

※地域手当を含みます。

●経験年数別平均給料月額(一般行政職)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
大学生	264,151円	324,270円	374,214円
高校卒	227,347円	275,940円	334,039円

●手当

22年12月20日現在

●手当

扶養手当	配偶者・・・15,300円 他の扶養親族・・・6,800円
地域手当	給料の月額・扶養手当・管理職手当の12%
住居手当	持ち家・・・7,400円/借家・・・10,600円
通勤手当	運賃等相当額55,000円(月額)まで全額
他の手当	管理職手当・初任給調整手当・時間外勤務手当・特殊勤務手当・宿日直手当など
期末・勤勉手当	年2回に分けて支給される一時金(ボーナス)。年間3.95月分を支給
退職手当	退職時に支給される一時金(退職金)。21年度の定年・勤奨退職の受給職員一人当たり平均2,626万円

●議員と市長

22年12月20日現在

川崎市議会議員の定数は上限は72名ですが、減数条例を制定して現在は63名としています。更なる議員削減をめざしており4月の統一地方選挙では60名として、宮前区の定数も9名となる見通しです。

適正な数とは難しいですが、私が12年間議会活動をしてきた実感としては、現在の仕事を前提とするならば各常任委員会(5委員会)に各10名の議員として計50名で十分ではないかと考えます。よって、一層の削減に賛成していきます。ただし、地方分権が進んだ時は見直しが必要です。

●特別職の給料・報酬等

	市長	副市長	議長	副議長	議員
給料・報酬	月額125万円	月額99万円	月額103万円	月額92万円	月額83万円
期末手当	6月 1.4月分、12月 1.55月分 合計 2.95月分				

※ホームページに議員の給料明細をアップしていますので、ご参照ください。

郵便はがき

216-0003

恐れいりますが
50円切手を貼って
投函下さい

川崎市宮前区有馬6-6-7

自民党宮前区第4支部

川崎市議会議員

浅野 ^{あさのふみなお} 文 直 事務所 行

川崎市政アンケート

お名前	<small>男・女 (年齢 才)</small>
ご住所	(〒)
お電話	
Eメール	

浅野文直

は様々な手段でみなさまと対話します。

皆様からの相談に対する結果報告一例



道路横断者が多いが、信号の設置が困難なため、ドットラインを入れ更なる対策を検討中。



区内各地から寄せられる通学路及び歩行者の安全確保策。ここも信号の設置が困難なため、カラー舗装などで対応。

キリトリ



ホームページ上の「浅野文直の言いたい放題!ブログ版」やメールで様々な質問にお答えいたします。又、「川崎市の借金時計」も大好評!!必見です。

浅野文直は皆様の意見を大切にします

この紙面や浅野の活動に対するご意見をお寄せ下さい。 ➡

自由民主党神奈川県川崎市宮前区第4支部
〒216-0003川崎市宮前区有馬6-6-7
asano@2370.net
TEL 044(860)2370 FAX 044(860)2371

この会報は下記企業様のご支援により作成配布致しました。



ホームページ www.fudosan-consulting.jp

不動産に関するお悩みをひとつでもお持ちでしたら弊社へご相談ください。一人で悩んでいても何の解決にもなりません。勿論守秘義務厳守致します。弊社精鋭のネットワーク(弁護士・司法書士・不動産鑑定士・土地家屋調査士・ファイナンシャルプランナー他)によりの確なアドバイスをさせていただきます。

不動産に関する悩み、ご相談承ります。

- 親族・近親間でトラブルが発生している。
- 現在税金を滞納中、又は過去に滞納したことがある。
- 所有の賃貸物件に空室が増加している為、収入が激減し経営が苦しい。
- 現在ローンを滞納している、又は返済に困窮している。
- 信頼できる弁護士を紹介してほしい。
- 内密で所有不動産を早期に売却したい。
- 今契約している税理士では色々不満があるので、もっと親身になってくれる先生を紹介してほしい。
- 現在自宅が差押え中、または過去に経験がある。
- 離婚を考えている。(現在調停中)
- 大病を患っている為、不動産を売却し現金化したい。
- 現在自宅任意売却を考えている。
- 来月自宅が競売にかけられる予定だ。
- 所有している賃貸マンションに家賃滞納している賃貸人がいてなんとか追い出したい。
- 転職が決まり今住んでいる自宅を貸したい。

ご相談無料、年始は1月6日より営業。お気軽にお電話下さい。

土・日・祝日もご相談承ります。(定休日毎週水曜日)



0120-122-880

株式会社 トータルエージェント 担当 高木(たかぎ) E-mail : info@totalagent.jp

通話無料

川崎市宮前区土橋3-3-2 カーサ鷺沼 1F 東急田園都市線 鷺沼駅 徒歩2分